

第5学年 英語科学習指導案

令和4年11月16日（水）第5校時
5年A組 児童数 15名
指導者 岩田 夏穂 Cherish Warden

1 単元名 Lesson 6 My Hero (Junior Sunshine 5 開隆堂)

2 単元の目標

友達に、自分が憧れたり尊敬したりする人物についてよく知ってもらうために、できることや得意なこと等について整理した上で My hero カードを作り、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 「発表」	<知識> 動作の言い方や、He / She can～. He / She is good at ～.などの第三者ができることや得意なことを伝える表現の仕方について、理解している。 <技能> 動作の言い方や、He / She can ～. He / She is good at～.などの第三者ができることや得意なことを表す表現を使って、憧れの人物を伝える技能を身に付けている。	自分が憧れている人について友達によく知ってもらうために、憧れの人ができることや得意なことなどについて整理した上で、自分の考えや気持ちを含めて話している。	自分が憧れている人について友達によく知ってもらうために、憧れの人ができることや得意なことなどについて整理した上で、自分の考えや気持ちを含めて話そうとしている。

4 単元設定の趣旨

本単元は、友達が憧れている人（ヒーロー）の話の聞いたり、自分が憧れている人について紹介したりする単元である。これまでの学習は、おおむね自分と話し相手についての会話が主体であったが、Lesson4 Can you do this?で第三者ができることについて紹介できるようになり、表現の幅が広がった。そこで、本単元では、「友達に、自分が憧れたり尊敬したりする人物についてよく知ってもらうために、できることや得意なこと等について整理した上で My hero カードを作り、自分の考えや気持ちなどを含めて発表する」という単元ゴールを設定し、第三者について紹介する学習を行う。発表の表現の中心となる He / She can ～. He / She is good at ～.などを用いて、キャラクターや有名人、友達や家族、地域の人など、憧れる人（ヒーロー）について、できることや得意なことなどを繰り返し伝え合う言語活動を仕組む。単元の後半では、第三者の情報だけでなく自分から見たヒーローの特徴や気持ちなども話したいという思いを持つ児童がいると思われる。自分のヒーローについて、He / She is ～.を用いて人の特徴や第三者に対する自分の思いを表すことで、伝えたい内容をさらに深められることに気付かせていきたい。

今年度の英語科では、主に「友達のことを知ったり、自分のことを知ったりしてもらうため」という目的に向かって学習を進めてきた。児童は今まで知ったつもりになっていた友達のことを、言語活動を通して、より理解し、新しい発見に驚いたり嬉しさを見せたりする姿が見られる。学習の中心となる言語活動では、表現の工夫や内容の整理をすることで、相互理解をより深めることに気付かせたい。また発表態度にも留意させ、相手意識を持った内容に近づけていくための学習を進めていきたい。

5 単元の指導計画と評価計画（8時間）

時	目標	主となる学習活動	評価規準		
			知技	思判表	態度
1	憧れの人についての会話のおおよその内容を理解し、動作の言い方や、第三者 (He / She) ができることや得意なことなどを伝える表現が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (お気に入りのキャラクター) ○Teacher's Talk (憧れの家族や有名人) ○単元のゴールを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方に言い慣れる ○キャラクターについて紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・くじを引いて当たったキャラクターについて、He / She can ～. He / She is good at ～.などを用いて紹介し合う。 			
2	キャラクターを憧れの人とし、できることや得意なことを伝える表現を使って、憧れの人物についての Who am I クイズを作って伝えることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (ピカチュウのできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (キャラクターの Who am I クイズ) <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ・キャラクターができることや得意なことなどの情報を共有する。 ○キャラクターの Who am I クイズをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビング (ロイロノート) で、キャラクターのできることや得意なことを広げる。 ・He / She can ～. He / She is good at ～.などを用いて、スリーヒントを出し、互いにクイズを出し合う。 			
3	友達を憧れの人として、できることや得意なことなどを伝える表現を使って、憧れの人について話すことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (ドラえもののできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (児童の Who am I クイズ) <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ○憧れの友達について紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビング (ロイロノート) で、友達のできることや得意なことを広げる。 ・He / She can ～. He / She is good at ～.などを用いて、スリーヒントを出し、互いにクイズを出し合う。 			
4	有名人を憧れの人として、できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、憧れの人について話すことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (ミッキーかコナンのできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (憧れの有名人) ○憧れの有名人について紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ・ウェビング (ロイロノート) で、有名人のできることや得意なことを広げる。 ・He / She can ～. He / She is good at ～.に加えて、He / She is ～.を用いて、有名人について、気持ちを含めて話す。 			
5	家族や身近な人(親戚、学校の先生、習い事の先生や友達)を憧れの人として、できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、憧れの人について話すことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (マリオかエルサのできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (尊敬する家族) ○憧れる家族や身近な人について紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ・ウェビング (ロイロノート) で、家族や身近な人のできることや得意なことを広げる。 ・He / She can ～. He / She is good at ～.に加えて、He / She is ～.を用いて、家族について、気持ちを含めて話す。 			

6 (本時)	できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、憧れの人について話すことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (ルフィかアンパンマンのできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (憧れの人) ○憧れの人について紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ・ウェビング (ロイロノート) で、憧れの人のできることや得意なことを広げる。 ・He / She can～. He / She is good at～.に加えて、He / She is ～.を用いて、憧れの人について、気持ちを含めて話す。 			
7	できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、整理した内容を写し書きし、憧れの人についての紹介カードを作ることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (カービィかサンジのできること・得意なこと) ○Teacher's Talk (憧れの人 My hero カード) ○第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ○My heroカードを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビングを参考に、リード文付きの四線に紹介文を書く。 			
8	できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、憧れの人について発表することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk (憧れのキャラクターができること・得意なこと) ○Teacher's Talk (憧れの人 My hero カード) ○憧れの人について紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・カードを持って紹介をする。 ○発表内容を動画で撮影し、提出する。 	発	発	発

6 本時の指導(6 / 8時間)

(1) 本時の目標

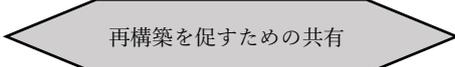
自分が憧れる人について友達に知ってもらうために、できることや得意なことなどを伝える表現を使い、自分の気持ちを含めて、憧れの人について整理して話すことができるようにする。

(2) 本時の評価規準

自分が憧れる人について友達に知ってもらうために、He / She can～. He / She is good at ～.に加えて、He / She is ～.を用いて、考えや気持ちなどを整理して話している。

※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。

(3) 展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 ■本時の評価規準【方法】
3分	1 挨拶をする。 2 Small Talk を行う。	○明るい雰囲気が始まるよう声をかける。 ○2つのキャラクターの内どちらかを選び、 Who is your hero? と会話を始める。
6分	3 Teacher's Talk を聞く。 HRT: Cherish sensei, "Let's talk about when we were kids. I'm 11 years old. I'm good at swimming. ALT: Good. Do you like swimming now? HRT: Yes, I do. I like watching swimming race. ALT: I see. Who is your hero? HRT: My hero is Ikee Rikako. Do you know her? ALT: No, I don't. HRT: She is a swimmer. She is my hero. ALT: Why? HRT: Because she can swim. She is good at crawl. She is very strong. I like swimming, too. She is very cute. She is good at smiling. ALT: She is nice. HRT: Yes. She is great. Who is your hero? ALT: My hero is Gudetama. He can cook well. He is great. He is cute and cool. He is good at cosplay. HRT: He is interesting. 4 本時のめあてを知る。 あこがれの人について、できることや得意なことに気持ちを加えて紹介しよう。	○話題が憧れの人であることをつかませるために、フラッシュカードを会話の流れに乗せて掲示する。 ○本時の課題を共有する。
29分	5 憧れの人について紹介する。 ・第三者について紹介するときの言い方を確認する。 ・ウェビング（ロイロノート）で、憧れの人ができることや得意なことを考える。 ・交流する。（横ペア） 中間指導 ・再度紹介する。（自由交流）	○He / She can～. He / She is good at～. He / She is ～.の言い方を、動詞や形容詞を交えながら確認する。 ○ロイロノートを使用し、第2～5時で作ったウェビングに、できることや得意なことなど、話したい内容を広げていくようにする。 中間指導  再構築を促すための共有 ○児童が伝えたい考えや気持ちを板書し、使える表現を全体で確認する。併せて、言いたかったが英語で言えなかった表現が出た場合は、全体で共有する。 ○He / She can～. He / She is good at～.に続けて He / She is～.を適切に使っている児童をモデルとして取り上げる。 ■自分が憧れる人について友達に知ってもらうために、He / She can～. He / She is good at～.に加えて、He / She is～.を用いて、考えや気持ちなどを整理して話している。
7分	6 振り返りをする。 7 挨拶をする。	○憧れの人を紹介する際に気をつけたいポイントを振り返らせ、次時への見通しをもたせる。